

## 京都市・会津若松市相互交流宣言

平成24年3月20日

激動の幕末にあつて京の都の治安の保持に任じた京都守護職松平容保公と会津藩士たち。大学のまち・京都を代表する大学の一つである同志社大学を興した新島襄を支えた会津出身の妻・新島八重。こうした先人たちが紡ぐ縁<sup>えにし</sup>で京都市と会津若松市は結ばれています。

平成24年（2012年）は、文久2年（1862年）に容保公が京都守護職を拝命して150年の節目となります。また、平成25年のNHK大河ドラマでは、新島八重を描いた「八重の桜」の放送が決定しています。

昨年3月11日、東北を中心に東日本を襲った未曾有の災害は、多くの人の命を奪い、被災地に深い爪痕を残しました。直接的な震災被害だけでなく、いわれのない風評被害に苦しむ人たちも少なくありません。平成24年は、こうした苦境を克服し、復興への新たな一歩を印す年でもあります。

両市を結ぶ縁にとっての節目の年、そして震災から1年を迎え、震災復興への志と願いを込めた更なる一歩を踏み出す年に京都市と会津若松市は、新たな「絆」を結び、観光分野を中心とした相互協力・交流を実施することをここに宣言します。



会津若松市長



京都市長

室井照平

門川大作